衛生学・公衆衛生学

責任者・コーディネーター	口腔医学講座（予防歯科学分野） 岸 光男 教授		
担当講座（分野）	口腔医学講座（予防歯科学分野）		

対象学年	2	区分・時間数 （1コマ2時間換算）		講義/演習	実習
期間	後期		前期	―	―
			後期	34.0時間	8.0時間

学修方針（講義概要等）

健康と疾病の概念、公衆衛生・疫学の考え方、環境衛生と健康の関連、健康を保持増進させるための社会制度などについて学修し、個別の予防・治療学を学ぶ前に、集団を対象とする予防医学について理解する。
講義資料は講義前にWebClassに掲載するので、事前学修に使用すること。

教育成果（アウトカム）

【講義】
疫学では、前期の医学統計学で学んだ数学的手法を疾病の原因を実際の疾病のリスクならびに健康要因の評価に応用する手法を学ぶことで、EBM〈Evidence Based Medicine〉実践のための基礎を身につけることができる。また、社会環境を含めた健康に対する環境の影響と感染症/非感染症の差違を学修することで、様々な集団に対する健康理方法等を包括的に理解することで、保健医療分野における地域住民のリスク管理ならびに地域の環境改善に貢献するための基礎的知識と態度が身につく。

【実習】
衛生･公衆衛生学的指標の測定を実施することにより、環境と健康の関連を理解できるようになる。

（関連するディプロマポリシー：1、4、5、7、8、9）

到達目標（SBOs）

・公衆衛生の意義を列挙できる。
・健康と疾病、障害の概念を説明できる。
・日本の保健医療の現状を概説できる。
・疫学指標を列挙できる。
・調査目的に応じた疫学研究方法を選択できる。
・与えられたデータから基本的な疫学指標を算出できる。
・根拠に基づく医療<EBM>の方法を概説できる。
・環境と健康のかかわりを概説できる。
・代表的な環境衛生指標を列挙できる。
・ライフステージに応じた地域保健活動を列挙できる。
・感染症と非感染症の予防法の差違を説明できる。
・疾病予防における栄養の重要性を概説できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等（シラバスに指定）を用いて事前学修を行うこと。事前学修には平均30分を要する。講義前後で同じ内容の小テスト（プレ・ポストテスト）を実施する。講義後に問題と正解がWebClassに公開される。問題を解きなおすだけでなく、周辺知識を含めた学修を事後に行うこと。事後学修は平均45分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

（事前学修：平均30分を要する　事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日（曜）	時限	担当教員（講座 分野）	**ユニット名** 内容	到達目標 **［コア・カリキュラム］** 事前事後学修
講義	9/24（水）	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**公衆衛生総論1** 公衆衛生学の意義と目的を学ぶことで、歯科医学・医療における公衆衛生の役割を理解できるようになる。	1. 公衆衛生学の目的と現代社会における適用を概説できる。 2. 健康と疾病の概念を概説できる。 3. 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 4. 健康日本21（第二次と第三次）の目標を列挙できる。 **[PS-04、SO-02、C-4-1-1・2、C-5-1～5]** 事前学修：教科書第一章を読み、疑問点を抽出しておくこと。
講義	10/1（水）	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**疫学1** 疫学の基本概念を学ぶことで，集団における疾患のとらえ方を理解することができる。	1. 疫学の概念を概説できる。 2. 疫学指標を列挙できる。 3. 疫学の研究方法と適用を説明できる。 **[PS-04、SO-02、C-6-1-1]** 事前学修：教科書p. 18-32を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	10/8（水）	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**疫学2** リスク指標と標本測定値の誤差要因等を学ぶことで、疫学的根拠への理解を深めることができる。	1.リスク指標を算出できる。 2.標本抽出法を列挙できる 3.誤差と交絡の違いを説明できる。 4.因果関係の判定基準を列挙できる。 **[PS-04、C-6-1-1]** 事前学修：教科書p. 18-32のなかで前回講義で述べられていないところについて疑問点を抽出しておくこと。
講義	10/15（水）	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**EBM、統計解析法** EBMの概念と基礎的な医療統計を学ぶことで歯科診におけるEBMが実践できるようになる。	1.EBMの5つのステップを列挙できる。 2.二次研究（レビュー、メタ分析）の意義を説明できる。 3.変数の種類を列挙できる。 4.グラフの種類と意味を列挙できる。 5.正規分布を説明できる。 6.統計学的分析法（ｔ検定、Ｆ検定、χ2検定、相関係数、順位相関係数）を概説できる。 **[C-6-1-1、C-6-2-1・4]** 事前学修：教科書p. 32-35、p. 40-46をを読み、疑問点を抽出しておくこと。

講義	10/15（水）	4	衣斐美歩講師 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**スクリーニング** **保健統計調査** スクリーニングについて学ぶことで集団の健康管理法について理解できる。 国の行う保健統計調査の概要を知ることで主要な健康問題を認識できる。	1.スクリーニングの意義を説明できる。 2.スクリーニングの有効性の指標を算出できる。 3.臨床検査の基準範囲の意味を統計学的に説明できる。 4.国が行う主な保健統計調査とその目的を列挙できる。 **[C-6-1-2・3]** 事前学修：教科書p. 35-38, p. 58-62を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	10/22（水）	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**人口統計、その他の保健統計調査** 人口統計指標と日本の人口静態・動態ならびに主要な保健統計調査の結果を学ぶことで、超高齢社会の健康問題を把握できる。	1.我が国の人口問題を概説できる。 2.人口静態の指標を列挙できる。 3.人口動態の指標を列挙できる。 4.国が行う保健統計調査の結果を概説できる。 **[C-6-2-2・3]** 事前学修：教科書p. 47-58を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	11/5（水）	3	大石泰子助教 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**国際保健、環境と健康1（地球環境保全、公害）** 環境問題について学ぶことで、環境が健康にもたらす影響と国内外の組織が行う取組みについて理解できる。	1. 主な地球環境問題を列挙できる。 2. 主な世界環境保全のための条約を列挙できる。 3. 国際保健に関わる主な組織とその役割について説明できる。 4. SDGｓについて概説できる。 5. 日本の代表的公害事例を列挙できる。 6. 環境基本法を概説できる。 **[C-4-5-1・2・3・4、C-7-2・3・4・5、E-1-1-5]** 事前学修：教科書p. 97-123、p.240-245を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	11/5（水）	4	大石泰子助教 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**環境と健康２（温熱環境、大気物質・水質・騒音・廃棄物）** 衛生学的環境指標を学ぶことで環境が健康にもたらす影響への理解が深まる。	1. 空気の正常・異常成分を列挙できる。 2. 大気汚染物質による健康影響を説明できる。 3. 生活用水の取水から排水までの経路を概説できる。 4. 上水道の水質基準を列挙できる。 5. 浄水法および汚水処理法を説明できる。 6. 水質汚濁による健康影響を説明できる。 7. 騒音・振動の健康影響を説明できる。 8. 廃棄物処理を概説できる。 **[C-4-5-1・2・3・4、E-1-1-5]** 事前学修：教科書p. 97-123のなかで前回講義で述べられていないところについて再度疑問点を抽出しておくこと。

演習	11/12（水）	3	岸　光男教授 衣斐美歩講師 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**疫学･統計演習** 具体的データを用いて保健医療統計の演習をすることで統計学的応用力が身につく。	1.主な疫学指標（相対危険、寄与危険、オッズ比）を算出できる 2.主なスクリーニングの指標（敏感度、特異度、陽性適中度、陰性適中度、尤度比）を算出できる 3.主な人口統計指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を算出できる。 4.主な統計指標（平均値、中央値、最頻値、四分位、分散）を算出できる。 5.データに適した統計解析法を選択できる。 **[PS-04、C-6-1-1・2、C-6-2-1・3・4]** 事前学修：ここまでの範囲の教科書と講義資料を復習しておくこと。
講義	12/10（水）	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**地域保健総論** 地域保健の基本的な考え方および仕組みを理解する。	1.プライマリー ヘルス ケアを説明できる。 2.ヘルスプロモーションを説明できる。 3.地域保健活動の進め方を説明できる。 4.プリシードプロシードモデルを概説できる。 5.保健行政の体系（WHO、厚生労働省、都道府県、市町村の関連など）を概説できる。 6.保健所と市町村保健センターの役割を概説できる。 **[GE-02、PS-10、SO-02・03、C-4-3-1、C-4-2-5・6]** 事前学修：教科書p. 132-140を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	12/10（水）	4	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**地域保健各論1** **母子保健・学校保健** 母子保健について学ぶことで地域母子保健における歯科医師の役割が理解できる。 学校保健について学ぶことで学校保健における歯科医師の役割が理解できる。	1.母子保健の意義と目的を説明できる。 2.母子保健活動の仕組みについて説明できる。 3.乳幼児健康診査について説明できる。 4.学校保健の意義と目的を概説できる。 5.学校保健活動の仕組みについて説明できる。 6.学校保健活動とその組織について説明できる。 **[C-4-2-5、C-4-3-1・4・5]** 事前学修：教科書p. 149-178を読み疑問点を抽出しておくこと。

講義	12/17 (水)	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**地域保健各論2** **産業保健・成人保健1** 産業保健について学ぶことで産業保健における歯科医師の役割が理解できる。 成人保健を学ぶことで成人保健における超高齢社会の歯科医師の役割が理解できる。	1.産業保健の意義を説明できる。 2.職域における産業保健活動について説明できる。 3.成人保健の意義と目的を概説できる。 4.成人保健の現状・動向を説明できる。 [C-4-2-5、C-4-3-1、D-6-2-5] 事前学修：教科書p. 177-199を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	12/17 (火)	4	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**地域保健各論3** **成人保健2・高齢者保健** 成人保健を学ぶことで成人保健における超高齢社会の歯科医師の役割が理解できる。 高齢者保健を学ぶことで超高齢社会の保健福祉について理解する。	1. 成人保健活動（生活習慣病対策など）を説明できる。 2. 特定健康診査・特定保健指導を説明できる。 3. 生活習慣変容のための行動科学的介入を概説できる。 4. 高齢者保健の意義と目的を概説できる。 5. 介護保険制度と地域支援事業を概説できる。 [PS-04・10、SO-02・03、C-4-2-5、C-4-3-1・4・6] 事前学修：教科書p. 199-222, P. 140-145を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	12/24 (水)	3	岸　光男教授 （口腔医学講座 予防歯科学分野）	**地域保健各論4** **高齢者保健2　障害者・精神保健福祉** 障害者福祉を学ぶことでの歯科医師の役割が理解できる。 精神保健医療福祉を学ぶことで精神障害者の保健福祉について理解する。	1. 地域包括ケアシステムと地域支援事業を概説できる。 2. 障害者福祉の意義と目的を説明できる。 3. 障害者福祉の現状・動向を説明できる。 4.　障害者福祉活動(自立支援給付、地域生活支援事業など）を列挙できる。 5. 精神保健医療福祉の意義と目的を説明できる。 [PS-10、SO-02・03、C-4-2-5、C-4-3-1・4・5・6] 事前学修：前回の講義資料を復習し、疑問点を整理しておくこと。教科書p. 223-239を読み疑問点を抽出しておくこと。
講義	1/7 (水)	3	相澤文恵非常勤講師	**健康と食生活** 栄養と健康について学ぶことで口腔保健における栄養指導の重要性が理解できる。	1.健康と栄養との関係を概説できる。 2.国民栄養の現状について説明できる。 3.日本人の食事摂取基準について説明できる。 4.食中毒の原因を列挙できる。 5.保健機能食品を説明できる。 6.食品の安全性について説明できる。 7. 食育基本法を概説できる。 [PS-10、SO-02、C-4-2-5] 教科書第五章を読み疑問点を抽出しておくこと。

講義	1/7（水）	4	岸　光男教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）	**感染症の予防** 感染症について学ぶことで歯科医療における感染対策の意義を理解できる。	1.感染症の成立要素を列挙できる。 2.感染症成立要素に応じた対策を概説できる。 3.感染症法に基づく感染症を列挙できる。 4. 検疫と予防接種について概説できる。 5. 院内感染対策を概説できる。 [A-4-1-9、PS-09、CS-07、C-5-4、C-7-5、E-1-1-1・2・3] 事前学修：教科書第四章を読み疑問点を抽出しておくこと。
演習	1/14（水）	3	岸　光男教授（口腔医学講座 予防歯科学分野）	**地域保健演習** 地域保健に関する問題演習を行うことで、地域保健に対する理解が深まる。	1.主な地域保健活動を列挙できる。 2.主な地域保健活動の実施主体と根拠法を列挙できる。 3.地域保健におけるPDCAサイクルを概説できる。 [PS-10、SO-02、C-5-1-1～6] 事前学修：ここまでの範囲の教科書と講義資料を復習しておくこと。

実習日程表

実習	11/19（水） 11/26（水）	3 4	岸　光男教授 佐藤俊郎講師 衣斐美歩講師 大石泰子助教 杉山由紀子助教 佐藤華子助教 （口腔医学講座 予防歯科学分野分野）	**環境衛生実習** 環境測定を実施することで環境衛生についての理解が深まる。	1.水質検査を行うことができる。 2.感覚温度を求めることができる。 3.空気の成分を測定することができる。 4.測定値から生活環境を評価することができる。 [C-4-5-1・2・3・4、E-1-1-5]

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	新編　衛生学・公衆衛生学　第１版（第5刷）	安井利一、嶋﨑義浩、岸　光男、他　編	医歯薬出版	2025年
参	口腔保健・予防歯科学　第２版	山下喜久ほか　編	医歯薬出版	2023年
参	スタンダード衛生・公衆衛生　第18版	安井利一、神原正樹、荒川浩久　編	学建書院	2023年
参	国民衛生の動向2024/2025(「厚生の指標」臨時増刊号)	厚生労働統計協会　編	厚生労働統計協会	2024年

成績評価方法・基準・配点割合等

定期試験　90%
平常点（ポストテスト、実習レポート）10%　で評価する。

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

講義資料は講義前にWebClassに掲載するので、事前学修に使用すること。
提出されたレポートは採点後返却する。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
複写機	MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
ﾉｰﾄﾊﾟｿｺﾝ	LetsnoteB3ﾉｰﾄCF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
ﾊﾟｿｺﾝ一式	ThinkPadT43P2668-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
簡易設置型100スクリーン		1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
インテリジェントプロジェクター	ｉｐ40Ｂ	1	視聴覚用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
ノートパソコン ＭａｃＢｏｏｋ	MC240J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作製用
ノートパソコン・Let’ｓ　note　一式	CF-S9LWEJDS	1	視聴覚用機器	講義用
デスクトップパソコン dynabook　一式	T552/47	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3	1	視聴覚用機器	症例提示用
カラーレーザープリンタ・一式	LBP9200C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン一式	PC-MK33MLZE14SM他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
A3対応カラープリンタ・一式	LBP9100C	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の資料印刷用
デスクトップパソコン	Endeavor MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン	Endeavor AT994E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン一式	MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
ノートパソコン Dell Iatitude-9410	NBLA096-401N3	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成 講義・プレゼンテーション用
バイオ冷蔵庫	ALS-657HC	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習試料及び試薬の保存